

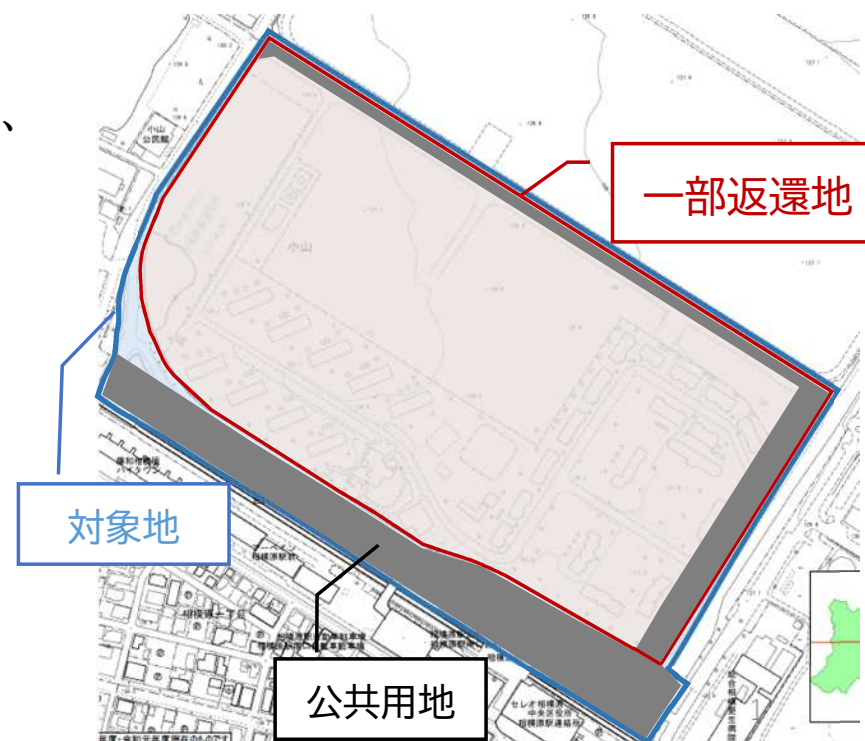
■基本的な考え方(たたき台)

1 目的

- 対象地は首都圏の鉄道駅前の広大な土地であり、民間活力を最大限に生かしつつ、立地ポテンシャルを十分に引き出せる土地利用を想定。
- 国から民間事業者への直接処分が想定される国有地であり、民間事業者の知見やノウハウが生かされるよう、土地利用計画の参考とする提案を得たい。
- 市民や学術団体等からも広く提案を得られるようにし、市民ニーズの把握の機会としたい。

2 提案対象

- 相模総合補給廠一部返還地(約15㍊赤枠)
+ 市道相模原駅北口線等の敷地(青枠)
※ このうち、一部を公共用地として確保(灰色)



■基本的な考え方(たたき台)

3 提案者

- 現時点において事業の具体化を見据えた提案ができる法人・グループ

4 提案内容

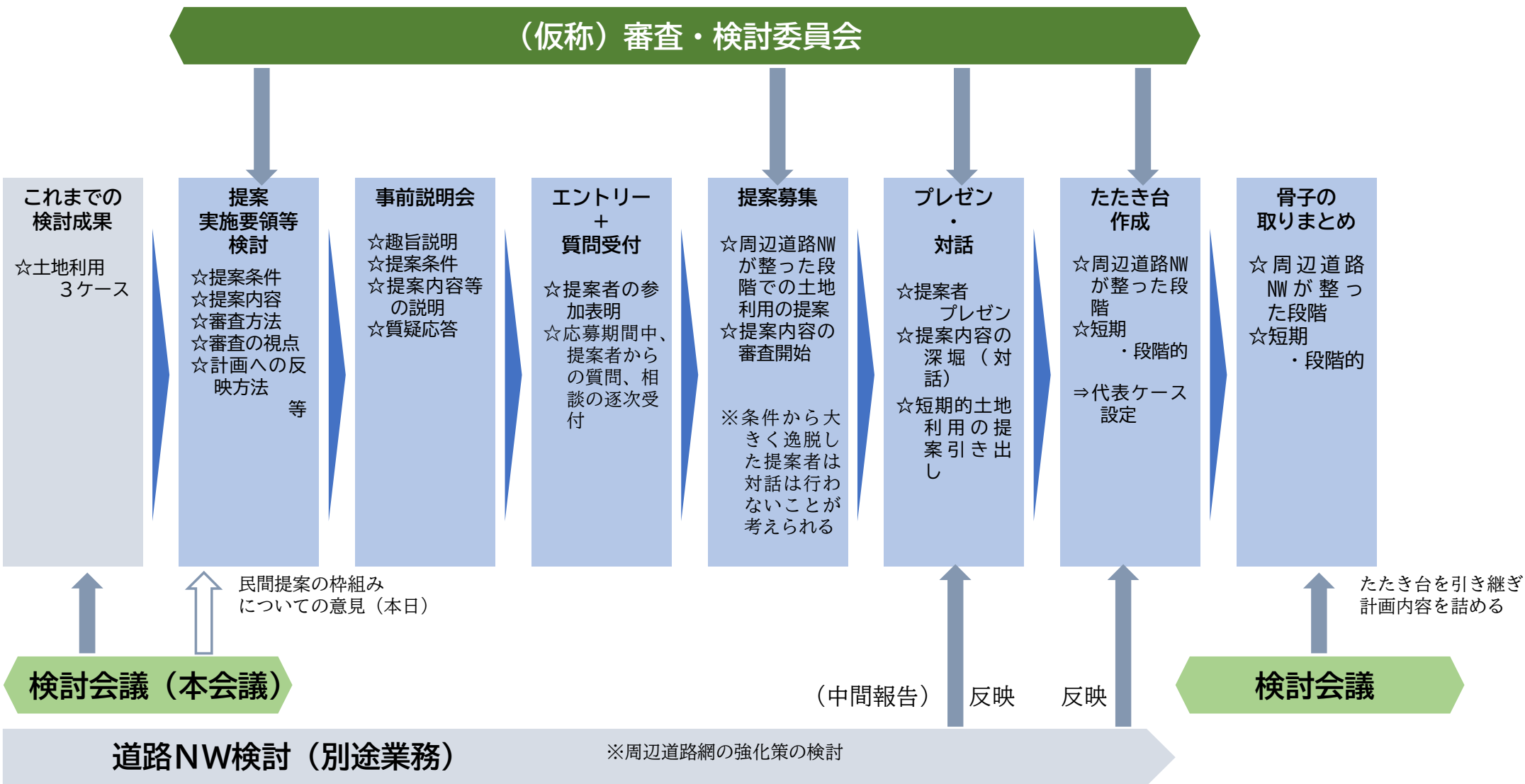
☆提案の前提条件（※現在検討中）

- これまでの検討成果を踏まえたものとする
 - ⇒まちづくりコンセプト
 - ⇒土地利用方針
 - ⇒土地利用計画の方向性
- 周辺道路や区域内の道路、駅前広場等の骨格的な都市基盤整備の考え方
- 交流ハブ機能や地域エネルギーシステムの導入は、官民連携による事業スキームを検討（提案してもらう）
- 施設整備の考え方
- 周辺道路NW強化の考え方

☆提案内容

- 周辺道路NWが整った段階での
土地利用計画図
 - 脱炭素型まちづくりの考え方
 - 交流ハブ 等
- 対話を通じて、周辺道路NWが整うまでの期間、現状道路NWのもとで交通処理が可能な短期的土地利用の考え方を引き出す。

■提案と土地利用検討の流れ(たたき台)



■体制の考え方(たたき台)

(仮称)審査・検討委員会を、検討会議とは別に立上げる

1 体制（委員候補）

- 学識経験者 相模原駅北口地区土地利用計画検討会議の学識経験者、その他
- 市民 相模原駅北口地区土地利用計画検討会議の市民委員
- 本市幹部職員 副市長、都市建設局長

など

2 役割

- 提出された提案を審査（土地利用計画に反映すべき提案内容の吟味）
- 対話への出席
- たたき台の作成（優良な提案の盛り込み、代表ケース設定と土地利用計画たたき台の検討）

■その他、提案の公表など

◎提案の使用

○著作権は提案者。土地利用計画作成・取りまとめに市が自由に使用できることを承諾してもらう。

◎提案の公表

○市から提案内容を個別に公表しない。

⇒応募件数程度の内容を公表。

■スケジュール(目安)

